

知仁会だより

12月

理念

- ・私たちは、患者様を身体面・精神面・社会面の三つの軸でトータルに理解し、治療と支援を行います。
- ・私たちは、患者様の権利を尊重し、患者様への接遇やサービスの向上と医療の安全に尽くします。
- ・私たちは、患者様の個人情報保護と企業情報保護に全力で取り組みます。
- ・私たちは、良質で効率的な医療・看護・介護・リハビリ・福祉サービスを目指します。
- ・私たちは、健全な病院経営を行います。
- ・私たちは、知仁会の施設サービス・在宅サービスを通じて一生をあたたくお世話します。
(ターミナルケア実施)
- ・私たちは、地域社会と連携し、地域社会への貢献に努力します。
- ・私たちは、障がい者の人権を擁護し、差別と偏見の解消に努めます。
- ・私たちは、仕事の意義と組織の一員であることを理解し、知仁会に誇りを持ち、より向上するために支え合って働きます。

患者様の権利憲章

- ・個人として、その人格を尊重し、最善の医療を公平かつ安全に受ける権利があります。
- ・病気、検査、治療、リハビリなどについて十分な説明を受ける権利があります。
- ・患者様の個人情報、及びプライバシーは保護されます。
- ・転医、転院等を希望する場合は必要な情報を提供します。また、他の医師の意見を求めたい場合は、他の医療機関への紹介を受ける権利があります。(セカンドオピニオン)
- ・診療情報の開示を推進し医療の透明性の確保に努めます。
- ・良好で快適な療養環境のもとに医療を受ける権利があります。
- ・精神科医療においては、精神保健福祉法に準拠した施行がなされます。
- ・良質な医療を実現するために、患者様ご自身の健康に関する情報を出来る限り正確・迅速に知らせる責務があります。
- ・患者様自身が納得できる診療を受けるために、医療に関する説明についてよく理解できなかったことについて、よく理解できるまで質問をする権利があります。
- ・すべての患者様が快適な環境で医療が受けられるよう、病院内のルールやマナー、職員の指示をお守りいただく義務があります。

理事長挨拶

医療法人社団 知仁会 理事長 石井 知行

「本年1年を振り返って」

本年は新型コロナウイルス禍であけ、新型コロナウイルス禍で暮れた一年でした。

幸いなことに職員一同の努力と協力のおかげで、当院においては新型コロナ感染症発生をみることなく、職員に対する頻回のウイルス感染検査も全員陰性でした。ワクチン接種も職員全員の99%の施行率でした。現在、中国地方の新規感染はゼロが続いており、ご家族の面会もWebとリアルの二通りで行っています。

オミクロン株の感染拡大は迅速であるように報道されていますので警戒を怠らず再び感染拡大の兆候が表れれば早急に対策を取らなければいけないと気を引き締めているところです。

広島県西部認知症疾患医療・大竹市認知症対応・玖波地区地域包括支援・合併型センター

認知症に関するお困り事の相談（専門医療相談）
 受診のご予約
 認知症の診断・治療
 認知症初期集中支援チーム

介護保険代行申請
 介護予防ケアプランの作成
 地域の健康作り・情報発信
 認知症カフェ オレンジカフェいこか！ 等

専門医による鑑別診断及び専門外来
 月曜日～木・土曜日（金・日祝祭日休み）
 9：30～12：00（※予約制）

電話相談・受診のご予約
 月曜日～土曜日（日祝祭日休み）
 8：30～17：30

☎0827-57-7461（直通）

認知症カフェ オレンジカフェ いこか！

あなたの運転は大丈夫？

まだ大丈夫？

もうそろそろ？

免許返納について考えてみませんか

時間	内容	講師
14:00	開会	
14:05	高齢者と車の運転について	広島大学大学院医系科学研究科 共生社会医学講座 特任教授 石井 伸弥 医師
14:20	運転免許証返納について	大竹警察署 交通課 吉富 雅之 係長
14:40	大竹市の公共交通について	大竹市役所 自治振興課 澤田 勇二 主幹、井上 裕樹 副主任
14:50	質疑応答	

日時：令和4年1月21日（金）14:00～15:00

場所：アゼリアおおたけ（大竹会館）

〒739-0613 大竹市本町1丁目9番3号

参加費：参加費無料 定員 50 名先着順

対象者：どなたでもご参加いただけます

お申込み期限：令和4年1月7日（金）

申し込み方法：上記問合せ先へお電話ください

その他：コロナ感染拡大状況によっては中止の可能性があります。中止の判断は令和4年1月7日（金）に行ない、当センターより申し込まれた皆様へご連絡させていただきます。



マスクの着用、手指消毒、検温にご協力いただき、ご自宅でも検温され体調が悪い場合には参加をご遠慮ください。会場では換気やソーシャルディスタンスの確保に留意いたします。

検診で肝機能異常が指摘された！どうすればいい？

メープルヒル病院 非常勤内科医師 寺岡 雄吏

肝臓は、生体にとって必須の働きを担う重要な臓器です。その主な働きは、代謝と解毒であり、糖・たんぱく質・脂肪を体内で使える形に変えて蓄え、必要な臓器に分配したり、有害な物質を代謝し身体に影響を及ぼさないよう排泄する働きがあります。

肝機能障害とは、検査において肝臓の異常を表す数値がでることを指します。しかし一方で、沈黙の臓器と呼ばれ、初期ではほとんど肝臓に関する症状が現れないことが多いです。肝機能障害の原因は多岐にわたるといいますが、どのようなものが原因になり得るのでしょうか。

肝臓の病気の主なものとして、ウイルス性肝炎、アルコール性肝障害、非アルコール性脂肪性肝疾：NAFLD (Nonalcoholic Fatty Liver Disease) があります。それぞれ、肝炎ウイルス、飲酒、栄養過多が原因になります。さらに、自己免疫性の肝炎や薬剤などが原因で、肝臓が悪くなることもあります。

肝機能障害によってなぜ疾患が進行するかについては、研究が進められていますが完全には解明されていません。肝機能障害はASTやALTの数値上の異常からわかるのですが、この数値が上がっていることは、肝細胞が死に続けていることを意味しています。このような段階では特に症状はありませんが、肝硬変や肝癌になると患者さんは体調の不良を自覚するようになります。

肝機能障害に早く気づき適正な診断・治療を受けることが、重篤な状態を防ぐことにつながります。

検診で肝機能異常が指摘されたら、一度、肝臓内科（消化器内科）を受診してみましょう。

＜研修会報告＞

院内感染防止対策委員会・教育委員会

「感染症COVID19を中心として」

令和3年11月24日（水）、メープルホールにて知仁会研修会が行われました。今回は、内科 佐々木富美子医師が講師となり、「感染症について」というテーマで研修を行いました。今回の研修会には、コロナ対策として当院で勤務する医療従事者のみで開催いたしました。

新型コロナウイルスを主に、インフルエンザウイルス、ノロウイルスについても改めて考える研修内容でした。コロナウイルスでは正しい個人用防護具の装着方法などの感染対策や年末年始に向けての行動の見直しなどについて学びました。



院内感染防止に努めている病院職員である私たちにとって大変参考となる研修会だったと思います。



フレイルを予防しよう

管理栄養士 寺田 明日香

「疲れやすくなった」「食事量が減った」など感じることはありませんか？

心身機能が低下し、日常生活を送る上で様々な健康障害が生じやすくなった状態を「フレイル」といいます。フレイルを予防することは、その先にある要介護状態の予防につながり、健康寿命（日常的な医療や介護に依存せず自立した生活が送れる期間）を延ばします。たんぱく質を十分に摂取しないと、筋肉の量や質が低下し、結果的にフレイルを招きやすくなります。さらにたんぱく質は、高齢になると消化吸収率が下がってしまいます。一定量の筋肉を保つためには、筋肉の材料となるたんぱく質量が不足しないよう、しっかり摂取することがカギとなります。

＜フレイルを予防する食事のポイント＞

○毎食「手のひら1枚分」を目安にしましょう

1日に必要なたんぱく質量の目安
[1.0~1.2] × 体重 (kg)

例) 体重 50 kgの方は 50~60g/日が目安

	たんぱく質量
豚ロース薄切り (1切れ) 50g	約 12g
鮭 (1切れ) 70g	約 20g
牛乳 (コップ1杯) 180g	約 6g
卵 (Mサイズ) 60g	約 7g
納豆 (1パック) 50g	約 8g

これで 53g のたんぱく質を摂ることができます。

他にも・・・

	たんぱく質量
鶏むね(一口サイズ3切れ)75g	約 26g
牛もも肉薄切り (2切れ) 60g	約 17g
ブラックタイガー (1尾) 15g	約 3g
マグロ刺身 (3切れ) 30g	約 8g
しらす干し (大きじ2杯) 10g	約 4g
焼きちくわ (1本) 30g	約 4g
木綿豆腐(1/2丁) 150g	約 3g
ヨーグルト (小パック) 80g	約 3g
チーズ (1切れ) 15g	約 3g
きなこ(大きじ2杯) 15g	約 6g

とはいえ、毎回たんぱく質たっぷりの食事をきちんと作ることはハードルが高いかもしれません。簡単なことから日常に取り入れてみましょう。

- ・魚の缶詰を活用する。
- ・乳製品や大豆製品が含まれている食品を選ぶ。

「これを食べればフレイルを予防できる」という食材はありません。たんぱく質の摂取に気を取られすぎず、「主食・主菜・副菜」を基本とした食事を意識しましょう。さまざまな食材をバランスよく摂っていくことで「フレイル」を予防することができます。また、今の季節ならではの、免疫力アップにもつながります。できることから始めてみましょう。



< 第19回 知仁会学会 >

12月8日(水)、当院別館3階メープルホールにおいて、今年で第19回となる知仁会学会が開催されました。知仁会学会開催の意義は、研究発表だけでなく、研究を通して患者様・利用者様にとってより良いサービスとは何かを職員が改善意識と目標意識を持って考えること、そしてそれをサービスや技術の向上につなげていくことにあります。

今年も各部署より多くの職種から日頃の業務の中に課題を得た、優れた演題がいくつも発表されました。

演題紹介

部署	発表者	演題
担当座長： 河内医師		
本館4階	高山純平	精神科における薬物療法～非定型抗精神病薬～
薬局	岩本竜昇 津川遥佳 三国沙紘	ベンゾジアゼピン系薬における 高齢者用量の適正化についての検討
担当座長： 佐々木雅敏医師		
本館2階	松本眞理 水野三津留	認知症のある終末期患者の孤独感に対する援助 ～そばに寄り添う介護の重要性～
本館3階	吉賀孝子	病棟をよりよい環境にするために ～患者満足度から見えてきたもの～
本館5階	中塚伸治 岩田愛子	ヒヤリハットを活用した転倒・転落防止の取り組み
担当座長： 大島施設長		
新館4階	小笠原友美 森崎茜	認知症患者への歯みがきアプローチ ～楽しく長く歯みがきしよう～
リハビリ PT	中本圭 中川敬汰	足趾把持力トレーニングおよび 足趾外転トレーニングが身体バランス機能へ与える影響 ～転倒の減少を目指して～
心理・PSW	真鍋優子 崎山美由希 藤高寿美子	病棟 SST の取り組みから認知症を考える ～漢字クイズの見直しを通して～
担当座長： 河面医師		
別館3階	内山優子 職員一同	ユマニチュード技法を取り入れた寄り添いケアの実践 ～わたしの居場所はここにある～
ゆうゆ2階	入江和泉 介護職員一同	入所者様間のトラブルへの介入 ～円滑な人間関係を目指して～
ゆうゆ3階	下川照代	ストレスを排除して元気な毎日を！ ～自律神経のバランスを整えよう～
担当座長： 佐々木富美子医師		
新館3階	松本和樹 介護職員一同	拘縮の強い患者へ対する効果的なオムツの当て方の検証
別館2階	森重彩乃 吉川里江 西村幸雄	高齢患者における「ミロ活」の実践 ～栄養状態、貧血改善を試みて～
検査	村井克尚 大島よしえ 野中英子	当院における細菌検出の統計分析 第1報

今年は昨年より2題目多い14部署が発表することができました。コロナ禍により業務形態が日々変化している中で、昨年より意欲的に取り組めた事を素晴らしく思います。また、今回の学会では多数の新入職員が発表にチャレンジしている点がとても印象的でした。今後も新入職員を含め知仁会全職員で医療の質とサービスのさらなる向上に努めて参ります。

★医師のスタッフ数

	常勤医師	非常勤	医師合計数
精神科	6名	2名	8名
内科	4名	12名	16名
放射線科	1名	0名	1名
合計	11名	14名	25名 ※基準数9名
歯科	0名	6名	6名

★リハビリのスタッフ数

	リハビリスタッフ数 (非常勤)
理学療法士	6名 (4名)
言語聴覚士	2名 (0名)
作業療法士	9名 (1名)
合計	17名 (5名) ※基準数13名

★敷地内禁煙について

当院では敷地内での喫煙を健康増進法に従って禁止しています。喫煙につきましては、敷地外の所定の喫煙場所をお願い致します。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

★外来診療担当

認知症疾患医療センターで、もの忘れ外来も実施しております。

	月	火	水	木	金	土
精神科	石井 知行	野見山 敏之	石井 知行	野見山 敏之	河内 英基	岡村 仁
内科	佐々木 雅敏	佐々木 富美子	松尾 行雄	加藤 礼子 茶山 一彰 (第2・第4)		芹川 正浩
歯科	広大医師 第二月曜のみ	広大医師	広大医師	広大医師		
認知症疾患 医療センター	石井 伸弥 (初診)	石井 伸弥 (初診)	河面 憲志	田村 知子		河内 英基

★診療時間：精神科 9:15～12:00・内科 9:30～12:00・歯科 9:15～12:00

認知症疾患医療センター9:30～12:00 (予約及び緊急時は午後も診察します。)

★当院外来では、ヘリカルCT、腹部超音波検査を行っています。御希望の方は外来スタッフまでお申し出下さい。

※ヘリカルCT・レントゲン検査は午前中のみになりますのでご注意ください。

★地域連携室のご案内

★入院、退院、在宅サービス、施設見学についてのご相談、また、苦情、お困りごと、その他、ご質問等ございましたら、地域連携室までお気軽にご相談下さい。スタッフ一同、プライバシー保護を遵守しておりますので、患者様、ご家族様から知り得た情報は了解なしに第三者に開示されることは決してありません。ご安心してご相談ください。

★地域連携室の主な業務：入院相談・退院相談・入院生活や退院後の生活についてのご相談、医療福祉サービスや制度などのご案内・諸手続の援助等

地域連携室 (メープルヒル病院本館1階) 0827-57-7451

責任者：地域連携室 福原 啓司

個人情報保護に関する医療法人社団知仁会の基本方針

知仁会は常日頃より患者様・利用者様の視点に立ち、質の高い医療の実現とよりよいサービスの提供を目標として、診療業務を営んでおります。患者様・利用者様の健康状態に応じて迅速に的確な医療を提供させて頂くためには、患者様・利用者様に関する様々な医療情報が必要です。患者様・利用者様と確かな信頼関係を築き上げ、安心して医療サービスを受けて頂くために、患者様・利用者様の個人情報の安全な管理は必須です。知仁会では、下記の基本方針に基づき、医療情報の管理を行い、患者様・利用者様の個人情報保護に厳重な注意を払って参ります。

1. 個人情報保護に関する法律を遵守し、患者様・利用者様の情報を個人情報保護委員会で管理しています。
2. 診療及び病院の運営管理に必要な範囲においてのみ、患者様・利用者様の個人情報を収集しています。
3. 患者様・利用者様の個人情報への不正アクセス、紛失、改竄及び漏洩を防止し、安全対策を実施いたします。
4. 一部、検査等を外部の医療施設等に委託する場合があります。その際に、患者様・利用者様の情報をこれらの施設に知らせる必要のある場合があります。この場合、知仁会では、信頼のおける施設等を選択すると同時に、患者様・利用者様の個人情報が不適切に取り扱われないように契約を取り交わします。
5. 患者様・利用者様が継続的に良い医療を受けられるように、診療に関する情報を、病院、診療所などに提供する場合があります。また、ご本人様、ご家族様に事前に承諾をいただいたうえで、学会や研究等で医療の発展の目的として情報を利用する場合があります。
6. 患者様・利用者様の必要に応じて、診療情報を開示しています。しかし、最良の治療の継続に支障をきたすことが考えられる場合は、開示しないことがあります。
7. 知仁会では、患者様・利用者様の取り違えなどの事故を防ぐため、入院患者様・入所者様氏名を病室・療養室前に掲示しております。ご理解、ご協力をお願いいたします。名札の掲示についてご希望がありましたらお申し出ください。
8. 知仁会では、原則として面会制限は行っておりませんが、面会に関してご本人様、ご家族様の希望がありましたら病棟職員にお申し出ください。

医療法人 社団 知仁会

〒739-0651 広島県大竹市玖波5丁目2番1号

TEL 0827-57-7451

FAX 0827-57-5312

ホームページアドレス <http://tijinkai.or.jp/>

メープルヒル病院

広島県西部認知症疾患医療・大竹市認知症対応・
玖波地区地域包括支援・合併型センター
地域活動支援センターみらい

介護老人保健施設ゆうゆ ゆうゆ居宅介護支援事業所 ゆうゆ訪問看護 ゆうゆデイケア 訪問リハビリテーション

《アクセス方法》

■ JRご利用

広島駅から玖波駅35分

玖波駅から

バス・タクシー約5分／徒歩約10分

(玖波駅西口から送迎バスを運行しております。)

送迎バスは玖波駅発9:30、12:35

となっております。)

■ 山陽自動車道ご利用

大竹インターから約5分



<患者様へお願い>

1. ご自身の健康に関する正確な情報をお伝えください。
2. わからないことがありましたら、ご納得いただけるまでご質問ください。

●メープルヒル病院、老人保健施設ゆうゆ、各社会復帰施設の紹介や知仁会から発行する広報誌、毎月の行事一覧、知仁会のサービス案内などを掲載しています。

また、皆様からの質問・相談窓口としてホームページ上にご意見板を用意していますので、知仁会に関する質問や日常生活の様々な悩み・相談、また見学のお問い合わせ等ありましたら、お気軽にお尋ね下さい。

●求人に関する情報もありますので、ご覧下さい。

ホームページアドレス <http://tijinkai.or.jp/>

●本誌に掲載されております写真等につきましては、ご本人あるいはご家族の了承を得て掲載させて頂いております。

●知仁会だよりについてのお問い合わせ、ご意見は担当：福島・横山・濱浦までお寄せ下さい。